

1 題材名

『千葉市はこうして大きく（広く）なりました』

～地形図を調べて千葉市の発展をたどろう！～

2 授業のねらい

- ① 千葉市は今年で市制施行から 101 年目に入りました。今でこそ人口 100 万人にせまる大都市ですが、100 年前はどうだったのでしょうか？ 現在に至る変遷の過程を追います。
- ② 時期別の地形図を見比べることで、地形の変化だけでなく、それに伴う市街地の拡大や暮らしの変化にも気づかせたいと思います。
- ③ それぞれの時期の千葉市を比較することで、都市が次第に発展していくためにどのようなことが必要なのか、またどのような契機があったのかについて考えます。
- ④ 千葉市の発展の歴史を調べることで自分たちの住む町（街）への興味・関心を高め、将来の千葉市に貢献しようとする意識を育てます。

3 学習指導要領の項目、指導計画上の位置付け

◇ 歴史的分野 A：歴史との対話（2）身近な地域の歴史 イ

地理的分野 C：日本の様々な地域（4）地域の在り方 イ

◇ 1 時間扱い

◇ 2 年歴史「新たな時代の日本と世界」または 2 年地理「関東地方」の番外編として、もしくは 1・2 年生の学年末などに年間のまとめとして扱うこともできます。

4 予想される授業の流れと指導資料

- ① 資料から、千葉市が近隣町村との合併と埋め立てにより市域を広げてきたことを読み取り、その各時期の人口と面積を確認します。 <各自がワークシートにグラフの形で記入>
- ② 1916(大正 5)年、1957(昭和 32)年、1989(平成元)年の地形図を、次のような観点で見比べます。
観点【 市街地・住宅地のひろがり 海岸線の変化 鉄道の線路と駅の位置
主要な建造物や施設の位置と変化 内陸で地形が大きく変化した所 など 】
<グループ内で相談してワークシートの表に記入>
- ③ ②を参考にして「都市が発展する条件」として各グループ 3 つ決めます。意見を検討・共有して、どのような意見が出たか、全体で発表します。
- ④ 学級全体で「条件」をまとめます。3 つ以上になってもかまいません。
- ⑤ あらためて全体で千葉市の発展の歴史を振り返ります。最後に「千葉市がここまで大きく発展したのはなぜ？」という問いに対する答えを、各自がワークシートに記入します。

<活用するおもな資料>

- ◎ 伸び行く千葉市 「地形図に視る千葉市の移り変わり」
- ◎ 千葉市市制施行 100 周年記念誌 「変わる街並み 1. 2」
- ◎ データで見る千葉市 100 年の軌跡 「市域の歴史」
- ◎ 千葉市 HP（必要に応じて） など

5 指導上の留意点、その他

- ◇ 各校に配布されている「伸び行く千葉市」を各自が手にした状態で授業ができるとよいです。
- ◇ 千葉市の大きな掛図や発展の歴史がわかる資料があれば、ぜひ併用させていただきます。
- ◇ 地形図を見てわかることに加えて歴史的な背景も大切な要件なのですが、今回は深入りせずに簡潔に補足説明をする程度にとどめたいと考えています。